



やさとっ子

●新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症の猛威が収まらず、市内小学校でも連日、学級閉鎖が起きています。さらに、新聞報道にあったように学校閉鎖になっている学校もあり、感染力の強さを物語っています。

昨日も四日市市教育委員会より「新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえた学校内における感染症対策等の徹底について」の依頼が再度ありました。具体的な指示は以下のとおりです。

1 学校における感染症対策の基本的な考え方

- ▶ マスク着用や手洗いの励行、換気、毎日の検温などの基本的な感染症対策の徹底
- ▶ 授業や行事等における身体的距離の確保(間隔は2m となっているが、可能な限り距離をとること)
- ▶ 休憩時間や移動時間などに、三密の条件が重なることが課題であり、注意喚起を行うこと

2 教育活動について

- ▶ 「感染症対策を講じてもなお感染力が高い学習活動」や一定の人数が来校する行事については、その必要性を考慮し、延期または中止の検討
- ▶ 6年生を送る会等の行事において、教育効果を考え実施したい内容であっても、児童の健康と安全を第一に考えた内容・方法の選択
- ▶ 市内の感染状況等を踏まえ、原則として対面によるグループワークは控えること
- ▶ 児童が一定の距離をとってのグループワークや合唱などを行う際は、長時間(15分以上)の活動にならないように。またできる限り教室を分けること

他にも卒業式等の合唱等の指導についても細かい指示が出ています。さまざまな点で子どもたちにも窮屈な思いをさせています。感染を拡大させないためにやむを得ないこととご理解いただきますよう、よろしくお祈いします。加えて、今後も感染が拡大してしまったり、お子さんの体調が大きく崩れてしまったりしたときに「あのときこうすればよかった…」「こんなことになる前に…」ということのないよう、ご家庭で以下の点を含み、健康管理等への協力の継続をお願いします。

- ① お子さんに発熱等の風邪症状がある場合は、無理をして登校するのではなく、自宅での休養をお願いします。
- ② お子さんの同居の家族に発熱等の風邪症状が見られる場合も、登校を控えるようお願いします。
- ③ 日頃の体調と比べて、少しでもおかしいと思う症状が見られる場合は、できる限り早めに医療機関を受診してください。
- ④ 学校での体調がすぐれない場合は、迎えをお願いする場合があります。緊急連絡先の変更や追加がある場合は、学校へ必ずお知らせください。

●タブレットの持ち帰りについて

文部科学省から示された「GIGA スクール構想」により、市内すべての学校で、現在、タブレットの活用が日常化・活発化しています。今後は、学校だけでなく家庭学習での利用も求められています。市内では、以前から持ち帰りを行っている学校も多数ありました。本校では今まで「学校で使い、学校で力をつける」ことに力点をおいてきました。繰り返して使用することで、子どもたちの力もかなりついてきました。

今後は、家庭に持ち帰り、家庭学習に取り組むことによって、もっともっと子どもたちの活用の幅が進むようにしたいと考えています。タブレットの持ち帰りの詳細については以下のとおりです。

- 2/25(金)にタブレット、充電器を持ち帰りました。
- 充電器は家庭にて利用ください。学校で充電器の使用を行う場合には、連絡させていただきます。その際は、持参させてください。
- タブレットの充電は、毎日、「満充電」にして持ってきてきましょう。
- タブレットの持ち帰りについては…
 - ◇ タブレットケースに入れて手にもって持ち帰る。
 - ◇ ケースに入れずに、ランドセルの教科書の間挟んで持ち帰る。
(注)ランドセルのふたに挟んで持ち帰ることはやめましょう。
 - 市教委から以前連絡があったように、破損の理由によっては修理代金を自己負担していただく場合があります。
- 家庭学習については、各担任からの指示があります。
(例)タブレットドリル、音読を動画で撮影、日記を書く、宝物を写真で撮る、担任からスクリーンクラスで配付されたプリント、タイピング練習など
 - 基本、オフライン状態でできる課題を出しています。
- タブレットドリルについては「実施したかどうか」を学校が把握することができるようになっています。

はじめは、なかなか慣れずに使用に困ることもあるかと思います。遠慮なく、学校(担任)へお問い合わせください。

●「6年生を送る会 リハーサル公開」

2月22日(火)、6年生を送る会のリハーサル公開が行われました。予定では、授業参観でしたが、2月14日付「『三重県まん延防止等重点措置』の期間延長を踏まえた小中学校の対応について(市教委発)」により、授業参観を中止とし、ZOOMによる配信を行うこととなりました。保護者の方から「学校で見られなかったけれど、画面で子どもたちの様子を見ることでよかったです。」「みんな一生懸命に頑張っていましたね。」などの感想を頂戴しました。しかし、一部の学年では、音が聞き取れなかった場面があったり、画像が小さすぎたところなどがあったりして、保護者のみなさんに残念な思いをさせてしまったところもあったと聞きました。プロのように撮影ができず、ノイズも拾ってしまったところもあったようです。申し訳ありませんでした。

このような形(ZOOM)ではなく、みなさんに見ていただける日が早く来るといいなあ…と願うばかりです。

